

映画「島に灯りが灯る頃」上映会の開催について

平素より当協会の運営に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

小値賀町・野崎島にある旧野首教会の改修工事を軸に描いたドキュメンタリー映画『島に灯りがともる頃』の上映会(ウィズラン株式会社／させぼガレージ劇場主催・公益財団法人佐世保観光コンベンション協会 協力)を、佐世保市民文化ホール(旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館)で開催します。

今回映画の舞台となる小値賀町・野崎島の「野崎島の集落跡」は、佐世保市の「黒島の集落」とともに、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を構成する資産の一つです。

本作では、現在は無人島となった野崎島に残る旧野首教会の改修工事を軸に、島を離れた元住民の記憶、そして歴史ある建物を未来へ残すため工事に挑む人々の姿を描いています。

改修工事に携わったのは、佐世保市に本社を置く株式会社友建設。さらに、本作の製作には、させぼガレージ劇場、ウィズラン株式会社をはじめ、佐世保にゆかりのあるクリエイターが多数参加しています。映画を通して、野崎島や小値賀町を身近に感じてもらうとともに、佐世保と小値賀が海を介してつながる「海風の国」佐世保・小値賀観光圏の魅力や、地域に受け継がれてきた文化を未来へつないでいくことの大切さを知っていただく機会とします。

つきましては、ぜひ本件につきまして取材・掲載のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



●「野崎島の集落跡」とは

小値賀町の野崎島にある、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つです。かつて潜伏キリシタンが移り住み、神社の氏子となるなどして信仰を隠しながら暮らした集落の跡が残っています。現在は無人島となっていますが、集落跡や旧野首教会などから、当時の人々の暮らしと信仰の歴史を知ることができます。

●「旧野首教会」とは

野崎島の野首集落に暮らしていた人々が、キリスト教の禁教が解かれた後に建てたレンガ造りの教会堂です。現在の教会堂は1908年に建てられたもので、現在も野崎島を象徴する建物として大切に保存されています。映画『島に灯りがともる頃』では、この旧野首教会の改修工事を軸に、島を離れた元住民の記憶や、工事に携わる佐世保の人々の姿が描かれています。

亡き父から目をそむけ、僕は父の仕事を継いだ。
ルーツの島で知ったのは、厳格な父へ、ずっと言えなかった
「ありがとう」という想いだった。



第8回日本国際観光映像祭
日本部門
【ドキュメンタリー部門】
優秀賞受賞作品

A FILM BY SASEBO GARAGE THEATER

島に灯りが ともる頃

Memories of Nozaki

後援：小値賀町 協力：株式会社友建設 制作：ウィズラン株式会社/させぼガレージ劇場

串次 / 白旗 勇 / 瀬戸 新市 / 岩坪 宜隆 / 横山 啓子 / 池田 徹 / 山下 政樹 / 山部 香織 / 橋本 英紀

/船田 博嗣 / 大友 心愛 / ワークショップ参加者の皆様他

監督/撮影/編集：本竹 広賢 プロデューサー/撮影：瀬脇 昌子 ビジュアルデザイン/撮影/編集：永永 加奈子

音楽：田淵 寛行 撮影助手：野崎 千恵 / 山下 龍二郎 / 古田 実穂 / 陣内 幸太郎 Special Thanks：有門 正太郎、山田 真明子

映画「島に灯りがともる頃」させぼ特別上映会

9月11日(金)

佐世保市民文化ホール（凱旋記念館）
長崎県佐世保市平瀬町2

開場 18:00/開演 18:30

鑑賞料 無料

主催：させぼガレージ劇場（ウィズラン株式会社）

後援：公益財団法人佐世保観光コンベンション協会（『海風の国』佐世保・小値賀観光圏 推進組織）

株式会社友建設、株式会社井手建設

協賛：有限会社エス・ケイ・アイコーポレーション/有限会社柏木造船所/株式会社三車工業

株式会社ダイコウ建設/有限会社トモハウス/山口産業株式会社/大和ソリューションズ株式会社

「海風の国」 佐世保・小値賀観光圏 連携企画

●上映会の詳細

日 時：令和8年9月11日(金) 開場18:00/開演18:30

会 場：佐世保市民文化ホール(旧海軍佐世保鎮守府凱旋記念館)

長崎県佐世保市平瀬町2

主 催：ウィズラン株式会社(させぼガレージ劇場)

観覧料：無料

【このリリースに関するお問い合わせ】

公益財団法人佐世保観光コンベンション協会 企画課 中村
〒857-0863長崎県佐世保市三浦町21-1(JR佐世保駅構内)
Tel:0956-23-3369 (平日 9:00~18:00)
Fax:0956-23-6750



海風の国



公式HPはこちら